

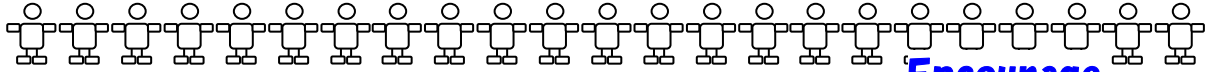
発行：2021年 第1号 7月1日(木)

三国中校区「なかよし地域ネット」通信

発行者：三国中校区「なかよし地域ネット」人権のまちづくり推進連絡会

会長 白木 博昭 / (文責) 事務局長 楠 良司

連絡先： 小郡市教育委員会 人権・同和教育課 電話 72-2111 内線532



ご存知ですか？ 中学生の皆さんの**インカレッジ**



※「インカレッジ」とは、「励ます」「勇気づける」などの意味です。



「なかなか学習に取り組むことができない」
「勉強で分からないところがあるけど、どうしよう・・・」
こんな思いをもっている人はいませんか？



中学生の皆さんに**必見朗報**です！

あせらなくても大丈夫！

のぞみが丘小学校の「生楽館」では、中学生の皆さんのために、
学習広場を開設しています！

この**広場**は、皆さんが楽しく快適に勉強できる環境です。



テスト期間などは、テスト対策や復習などもやっていて、
気軽に質問もできて、とっても充実していますよ！

勉強だけでなく、楽しくおしゃべりもOKです！

ひとりで参加も、お友達を誘って参加もOK！

マスクを
つけてきてね

➤日時…毎週土曜日 午後2時～午後4時まで 参加費は無料です。

➤場所…のぞみが丘小学校の「生楽館」(南校舎)

➤申し込みの必要は、ありません。好きな勉強道具を持ってきてください！

○ **広場で「勉強」を教えるのは、**

マメ行者プロジェクト 代表 立若 一彦 さん(三沢)

マメ行者プロジェクトで「畑の楽校」「小石原行者の森のかよい塾」「遊びの楽校」など、子どもたちの自然体験活動(修行)も行っている、地域の楽しい先生です。



インカレッジで中学生の学習のサポートをしてくれる「学生さん」を大募集しています！

社会貢献活動を行うことで、自信がついて、きっと将来の力になると思います！

後輩たちの応援をしてくれる方は、下記にお電話ください。

《インカレッジの問合せ》 三国中校区人権のまちづくりなかよし地域ネット連携事業

のぞみいきいきアンビシャス広場 委員長 楠 良司 090-3602-8236

のぞみがおか生楽館 館長 中地 幸 0942-75-6607

～地域や学校の取り組みの紹介です～

げんき農園でじゃがいも掘り・だいこん抜き体験

5月7日（金）に、三国が丘保育園の子どもたち60名が、「げんき農園」（林 裕之さんがお世話をしている畑）で、じゃがいも掘りとだいこん抜き体験が行われました。子どもたちは、収穫したじゃがいもや大根を前に、とても嬉しそうな笑顔を見せてくれました。

この取り組みは、林さんの子どもさんが保育園に通っていた時にはじめられたもので、今年で15年目になるそうです。「じゃがいもがゴロゴロと掘りあがった時の子どもたちの笑顔や大根を抜いた時の自慢げな表情が楽しみでやっています！」と、林さんも笑顔でした。

6月には、さつまいもの苗植え（300本）をされていて、秋の芋ほりを楽しみに、畑のお世話を頑張ってくださいています。



人権学習に取り組みました！（三国小・のぞみが丘小・三国中）

5月下旬に三国中校区の小・中学校では、それぞれ人権学習に取り組みました。5月、1年生は入学、その他の学年の子どもたちは新しい学年に進級し、希望と不安を持ちながらも新しい環境に少しずつ慣れてきたころです。そのような時期に、それぞれの学級や学年で行われた人権学習を通して、「どのようなクラスをつくっていくのか」「わたしはこれからどのような行動を起こしていくのか」といったことを考える機会になったのではないのでしょうか。

小学校のある学年では、「言葉」について考える学習に取り組まれていました。「あなたはどのように言葉を学ぶのですか」から始まる詩をもとに、子どもたちは、意見交流をしながら「言葉」について考え、見つめ直している姿が見られました。



～学習中の子どもたちの言葉から～

- 相手も自分も傷つけないように言葉を使うことが大切だと思う。
- みんながうれしく、楽しく過ごせるような言葉を使いたい。
- 人は言葉だけで命をうばうことがある。だからこの言葉を使ったらどうなるかという想像して使わないといけないと思う。



わたしたちは、日常的に「言葉」を使います。この学習で使われた詩は、「あなたはどのように言葉を学ぶのですか」と問いかけています。「言葉」を使って、人とつながることも、人との関係を断ち切ることもできます。それは直接的な会話でも、インターネットやSNS等でも同じです。わたしたちはどのように「言葉」を使うのか、どんな「言葉」を使うのかももう一度見つめていくことが大切なのではないのでしょうか。